

I 対馬の歴史に関して述べた次の文章を読んで、問1～問6に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

九州と朝鮮半島のあいだに位置する対馬は、古くから、大陸と日本列島の社会を結びつける役割を果たしてきた。鎌倉時代から室町時代にかけて力を伸ばし、対馬の支配者となった宗氏は、朝鮮王朝から貿易を許されるようになった。それゆえ、豊臣秀吉が朝鮮出兵をおこなった際には、朝鮮と豊臣政権のあいだで困難な立場に立たされることになった。豊臣政権に代わった江戸幕府は、A 東アジア域内の関係の安定化をめざした。朝鮮との貿易から利益を得ていた宗氏も、幕府と朝鮮とのあいだの緊張緩和に尽力した。宗氏を藩主とする対馬藩は「鎖国」体制下の日本で、対朝鮮外交・貿易を担う存在となった。

19世紀後半には、対馬は、B 日本・中国・朝鮮の関係のみならず、C ロシアやイギリスとの関係のなかでも焦点となった。1861年には、ロシアの軍艦が対馬にあらわれ、兵士が上陸し、一部地域を占領した。イギリスはこれに抗議し、ロシア兵は退去した。両国にとっての対馬の戦略的重要性がこの事件の背景にあった。

明治維新後、廃藩置県によって宗氏の対馬支配は終わりを迎えるが、対馬の戦略的な重要性は D 日露戦争時にも変化せず、対馬沖で日本海海戦が起きている。

対馬藩は、対外関係や幕府とのやり取りなどに関する膨大な文書を作成した。それらの文書の一部は、日本が E 大韓帝国を併合した後、朝鮮の歴史を編纂する事業で利用するために朝鮮半島に運ばれ、現在は F 大韓民国国史編纂委員会に所蔵されている。日本側に残った史料は、対馬の長崎県対馬歴史研究センターをはじめ、全国のいくつかの機関に分散して所蔵されており、慶應義塾大学もそのうち約1500点を所蔵している。

問1 下線部Aに関連して、17～18世紀の東アジア情勢について、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の1～5の出来事を、年代の古い順に並び替え、その番号を左から記入しなさい。

1. 軍機処が設置された。
2. 康熙字典の編纂が始まった。
3. 呉三桂ら三人の藩王が反乱を起こした。
4. ジュンガルが滅亡した。
5. 李自成が反乱を起こした。

(2) 17世紀の台湾では、鄭成功ら、清と敵対する勢力が活動していた。そうした勢力の活動およびその活動の終焉と、清の海上交易政策の変化との関係について、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問2 下線部Bに関連して、次の資料a～cは、日本と中国・朝鮮の関係にかかわる条約の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～cが締結された時期を、下の年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

将来朝鮮国^も若し変乱重大の事件ありて日中兩國あるいは一国兵を派するを要するときは、^{まさ} 応に^ま 先^ご 互^{ごうぶん} に行文^{ちしよ} 知照^{すべし} すべし

b

朝鮮国は自主の邦にして、日本国と平等の権を保有せり、嗣^{しご} 後兩國和親の実を表せんと欲するには、^{ひし} 彼此互に同等の礼儀を以て相接待し、^{ごう} 毫も^{しん} 侵越^{まつ} 猜嫌^{さいけん} する事あるべからず。（中略）
朝鮮国政府は（中略）日本人民の往来通商するを^{じゆん} 准^{ちやう} 聴^{すべし} すべし

c

日本曆七月二十三日、朝鮮曆六月九日の変は朝鮮^{きやうと} の兇徒^{きやうと} 日本公使館を侵襲し、職員多く難^{かか} に罹り、朝鮮国^{へい} 聘する所の日本陸軍教師亦^{また} 惨害^{さんがい} せらる

〔資料出所〕『日本外交年表並主要文書』上巻

1

日清修好条規が締結された。

2

日本政府が、琉球漂流民殺害事件を口実に台湾に出兵した。

3

沖縄県が設置された。

4

金玉均らがクーデタをおこした。

5

東学を奉じる全瑋準らが蜂起した。

6

問3 下線部 C に関連して、19世紀後半におけるロシアと清の間の国境の変化について、両国間の3つの条約の締結の経緯に触れつつ、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問4 下線部 D に関連して、日露戦争中に開かれた社会主義者の国際組織・第2インターナショナルの第6回大会では、日本代表の片山潜が、戦争に反対する演説をおこない、ロシアの代表と握手を交わした。日露戦争時のロシアの社会主義者の主要な諸党派について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問5 下線部 E に関連して、1868年に、対馬藩が、朝鮮に日本の新政府の成立を知らせた文書に、日本の君主を示す用語として「皇」が用いられていたことを理由として、朝鮮は文書の受領を拒否した。一方、1897年に、朝鮮国王高宗は、国号を大韓帝国と改め、君主の称号を、国王から皇帝に改称した。この2つの出来事のあいだの時期の清と朝鮮・韓国の関係の変化に触れつつ、高宗が「皇帝」を称したことが、東アジアの国際秩序において持った意味を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問6 下線部 F に関連して、次の資料 a, b は日本が調印した条約, c は日本の新聞記事の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料 a, b が調印された時期, および資料 c が発表された時期を、下の年表中の空欄 1～6 の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

大韓民国政府は、国際連合総会決議第195号（Ⅲ）に明らかに示されているとおりの朝鮮にある唯一の合法的な政府であることが確認される。

b

日本国は、朝鮮の独立を承認して、濟州島、巨文島及び鬱陵島を含む朝鮮に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

c

マッカーサー元帥は大韓民国独立式典に列席するため、日本に来て以来二回目の国外旅行をすることとなった。すなわち総司令部ではマッカーサー元帥が15日朝、空路京城に向かい、式典に列席ののち直ちに帰任するむね13日発表した。

（資料出所はいずれも省略する。）

1

中華人民共和国の建国が宣言された。

2

日本で警察予備隊が設置された。

3

日ソ共同宣言が出された。

4

沖縄返還協定に基づいて日本に沖縄の施政権が返還された。

5

日中平和友好条約が締結された。

6

Ⅱ スペイン、ポルトガルの探検航海に関して述べた次の文章を読んで、問7～問11に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

15世紀、イベリア半島を中心として、ヨーロッパの国々は A 大西洋に活路を求めていく。この時期、世界の一体化に重要な役目を果たしたのがスペインである。スペインは、短期間のうちに B アステカ、インカという先住民国家をあいついで征服し、やがて、自他ともに認める C 「太陽の沈まぬ国」となった。

ヨーロッパと結びついたアメリカ大陸は、様々な富をもたらすことになる。D なかでも世界に大きな影響を与えたのが、ラテンアメリカの各地で発見された豊かな銀の鉱脈である。銀に代表されるモノ、人そして情報が行き交うことで地球上の各地が繋がり、人類史上初のグローバル化が実現したのだ、と考える研究者も少なくない。

問7 下線部 A に関連して、次の資料 a～c は、探検航海に関する記録の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料 a～c に記された航海に関わった人物の組み合わせとして適切なものを、下の 1～6 のの中から選びなさい。

a

これら26人と公証人アンドレス＝デ＝バルデラーバノは南の海に足を浸した最初のキリスト教徒であった。彼らはみな、水を手にすくい、北のもう一つの海のように塩からいかどうかを調べようと初めて口にする物のように、水を口に含んでみた。塩からいと分り、自分たちがどこにいるかを考えて、彼らはこの発見に対して神に深い感謝を捧げたのであった。

b

これら二つの島を通過すると、11月6日水曜日に、東の方へ14レーガ〔約78キロ〕の地点にわれわれは四つの高い島の姿を望見した。船に抑留していた水先案内人が、あれがマルーコ〔モルッカ〕諸島だ、と告げた。

(注)〔 〕内は訳者による注である。

c

そこでわれわれは南南東へと船を進め、土曜日の夕方、かの喜望峰を見つけた。(中略)日曜日の朝、11月19日、再び岬に接近したが、風は南南東の風で喜望峰は北東から南西へ伸びているのでまわれなかった。

(資料出所はいずれも省略する。)

- | | | |
|----------------|-------------|-------------|
| 1. a ヴァスコ＝ダ＝ガマ | b バルボア | c マゼラン |
| 2. a ヴァスコ＝ダ＝ガマ | b マゼラン | c バルボア |
| 3. a バルボア | b ヴァスコ＝ダ＝ガマ | c マゼラン |
| 4. a バルボア | b マゼラン | c ヴァスコ＝ダ＝ガマ |
| 5. a マゼラン | b ヴァスコ＝ダ＝ガマ | c バルボア |
| 6. a マゼラン | b バルボア | c ヴァスコ＝ダ＝ガマ |

問8 下線部Bに関連して、次の文章を読んで、以下の(1)、(2)に答えなさい。

ヨーロッパの人々が到来する前の中南米には、大きく二つの文明圏があった。一つはメキシコ高原と(ア)半島に開花したメソアメリカ文明圏であり、もう一つはアンデス文明圏である。

絵文字をもち、聖獣ジャガーを信仰する(a)文明は、メソアメリカにおける最初期の文明であり、メキシコ湾岸地方に成立した。その後、(ア)半島を中心に、(a)の文化を継承しつつ、マヤ文明が発展した。メキシコ中央部では14世紀なかばからアステカ王国が栄えた。アステカ人が湖上に建設した(b)は大都市に成長し、スペイン人が到来した頃にはその人口は20万人以上であったといわれる。

一方、アンデス山脈の南北に版図を広げていたインカ帝国では、統計や数字などの記録を、縄を用いた(イ)という手段によって残した。

(1) 空欄(ア)、(イ)に入る語を、カタカナで、それぞれ〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

(2) 空欄(a)、(b)に入る語を、次の1～6の中からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. オルメカ | 2. クスコ | 3. チャビン |
| 4. テオティワカン | 5. テノチティトラン | 6. マチュ＝ピチュ |

問9 下線部Cに関連して、「太陽の沈まぬ国」という言葉は、16世紀末のスペインのどのような状態を意味するのか。それがどのような出来事の結果として生じたものかについて触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問10 下線部 D に関連して、次の資料は、スペイン国王カルロス 1 世（神聖ローマ皇帝としてはカール 5 世）が公布した文書の一部である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、以下の（1）、（2）に答えなさい。

鉱山で働く α インディオと奴隷には、聖なる秘蹟を執りおこない、カトリックの教義を教える司祭ないし修道士を配置し、その報酬は、鉱山関係者が支払うべし。

（資料出所は省略する。）

（1） 下線部 α にみられるように、スペイン王室がラテンアメリカに有する鉱山では奴隷が働いていた。その奴隷の主な出身地に触れつつ、奴隷も労働力として必要とされるにいたった経緯を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

（2） カルロス 1 世が在位していた期間に起きた出来事を、次の 1～6 の中から 3 つ選び、番号が小さい順に左から記入しなさい。

1. イベリア半島でのレコンキスタが完了した。
2. カトー＝カンブレジ条約が結ばれた。
3. 諸侯がルター派を信仰することが、アウクスブルクにおいて承認された。
4. ドイツ農民戦争を指導したミュンツァーが処刑された。
5. ネーデルラント北部 7 州がユトレヒト同盟を結成した。
6. プレヴェザの海戦でオスマン帝国軍が勝利した。

問11 下線部 D に関連して、スペインのアジアにおける支配拡大にともない、16 世紀後半以降に本格化した、スペイン領ラテンアメリカ物産と中国物産の交易について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅲ パリ大学の歴史に関して述べた次の文章を読んで、問12～問18に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

中世ラテン語の *Universitas* という語は「共同体」を意味した。パリ大学もそうした教師と学生の「共同体」から始まった。その起源は12世紀後半にもとめられ、13世紀前半に教皇の特許状を得て、自治をおこなった。神学部を中心とし、ラテン語が用いられた。A 教師も学生もしばしば複数の大学を遍歴した。しかしのちに、パリ大学は自治権を王に奪われた。パリ大学につどった神学者たちは、B ルネサンス期には人文主義を歓迎せず、C 17世紀、18世紀に生まれた新しい思潮に対しては、それらを批判した。

フランス革命は、大学制度にとっても転換点となり、パリ大学は他大学とともに廃止された。その後、D ナポレオンのもとで再び導入された大学制度により、パリ学区に五つの学部が設置された。E フランス革命以後、19世紀のフランスではさまざまな政治的事件が起きたが、学生たちもそこに参加した。20世紀後半、1968年には五月危機（革命）が起き、大学はその主な舞台の一つとなった。その際、F 哲学者サルトルは、学生運動への支持を表明した。

問12 下線部 A に関連して、次の文章を読んで、(a)～(d)に入る人名を、下の1～9の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

中世の大学に用いられた教育法はスコラ学に基づき、講読と討論とを中心とした。スコラ学を大成し『神学大全』を著わした (a) は、ナポリ、パリ、ケルンなどで学んだあと、パリ大学教授となり、イタリア各地でも教えた。経験と観察を重んじ『大著作』において「実験科学」という語を用いた (b) は、オクスフォードのみならず、パリにも赴いた。スコラ学に欠かせないのが古代ギリシアの (c) の哲学である。コルドバ生まれの法学者であり、医学者でもある (d) は、イスラーム世界につたわる (c) のほぼすべての著作に注釈をおこない、それがラテン語に翻訳され、スコラ学にも大きな影響を与えた。

- | | | |
|--------------|------------------|---------------|
| 1. アベラール | 2. アリストテレス | 3. イブン＝ハルドゥーン |
| 4. イブン＝ルシュド | 5. ウィリアム＝オブ＝オッカム | 6. ソクラテス |
| 7. トマス＝アクィナス | 8. プロタゴラス | 9. ロジャー＝ベーコン |

問13 下線部 B に関連して、15世紀なかばに、ヨーロッパにおいて書籍の製作が飛躍的に容易になった。その要因は何か。2つの技術に触れつつ、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問14 下線部 B に関連して、次の資料アは16世紀に出版されたある文芸作品の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、以下の（1）、（2）に答えなさい。

ア

ところが、わが神学者先生たちときたら、自己満足にひたって得意満々、みずからを褒めちぎって、昼夜を分かつたこの心楽しいたわごとに没頭していますから、一度たりとも福音書やパウロの書簡を繙く暇もありません。それでいて、学校でこんな馬鹿げた遊びに耽^{ふけ}っているながら、自分こそは三段論法で全教会を支えており、さもなくば教会は崩壊するであろうと考え、それは、詩人たちが詠っているように、アトラスが両肩で天を支えているのと同じことだとしているのです。

（注）アトラス：ギリシャ神話における巨神族の一人。

（資料出所は省略する。）

（1） 次の資料 a～c は、資料アの著者が、資料 a～c 内の波線部 α にあてた手紙の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、資料アの著者および波線部 α の人物の名を、それぞれ **【解答欄 B】** の所定の欄に記入しなさい。

a

α 大兄がいよいよながら宮廷へ引きずり込まれてしまったことについては、α 大兄がお仕えるのが最上の β 君主だということが、唯一の慰めです。しかしそれは間違いなく、私にとっても文芸にとっても、α 大兄というものが失われたということになるのです。

b

α 大兄もタンスタルも力を尽くして、私にルターに論駁^{ろんぱく}する筆を執らせようとしておられますね。（中略）お二人とも、私が全力を挙げてルターに立ち向かったならば、世人への影響力は大きいとお考えのようです。ところが私としては、そんなことをすればただ蜂の巣をつついて蜂を怒らせるだけだと、まあ固く信じています。

（注）タンスタル：カスバート＝タンスタル。資料アの著者の友人。

c

私はと言えば、私にこんなことを強いた実に愚かな神学者どもを時折呪いながら、世にも危険な旅路へ踏み出そうとしています。（中略）私の遣わしたジョンが、α 大兄と話し合っ、て、使用人の一人として雇っていただけのことになったと聞きました。それが本当なら、本当にうれしいことです。なにしろ彼の母親は、息子が無事でいられるのはイギリスだけだと思っていますからね。

（注）ジョン：ジョン＝スミス。資料アの著者のメッセンジャー役であった。

（資料出所はいずれも省略する。）

- (2) 資料 a 内の波線部 β は、自国の教会制度を従来のものから大きく変化させた。波線部 β の人名を明らかにしたうえで、その変化の内容を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問15 下線部Cに関連して、次の資料a～cは、それぞれ17世紀から18世紀にかけてヨーロッパで発表された著作の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。それぞれの著作の著者名の組み合わせとして適切なものを、下の1～6の中から選びなさい。

a

幾何学者らが、かれらの最も骨の折れた証明にたどりつくために、つねに用い慣れた、実に単純で容易な、論拠から論拠への長い鎖は、何かのおりに私にこんなことを考えさせたのである、人間に知られうるようなものは何から何まで、これと同様の仕方で連続し合っているであろう、そうしてそれらのもののうち真ならぬものを真なるものとして決して受け入れることなく（中略）必要な順序を守りつづけさえするならば、最後まで到達できぬほどの遠くにあるものも、発見できぬほどに隠されているものも、断じてありえないであろうと。

b

20 耕作すべき大領土を持っていて、さかんな粗生産物貿易を容易に行うことのできる国民は、農業の労働と支出を犠牲にしてまで、金と人を製造業と奢侈品商業に使いすぎる、といったようなことは避けなければならない。何より先ず、豊かなラブルールで王国は満ちていなければならないからである。

21 政府は節約に専念するよりも、王国の繁栄に必要な事業に専念すること。なぜなら、支出が多過ぎても、富が増加すれば、過度でなくなりうるからである。

（注）ラブルール：耕作者を意味する。

c

それであるからわれわれは、人間の本性のなかに、三つの主要な、あらゆる原因を見いだす。第一は競争、第二は不信、第三は誇りである。

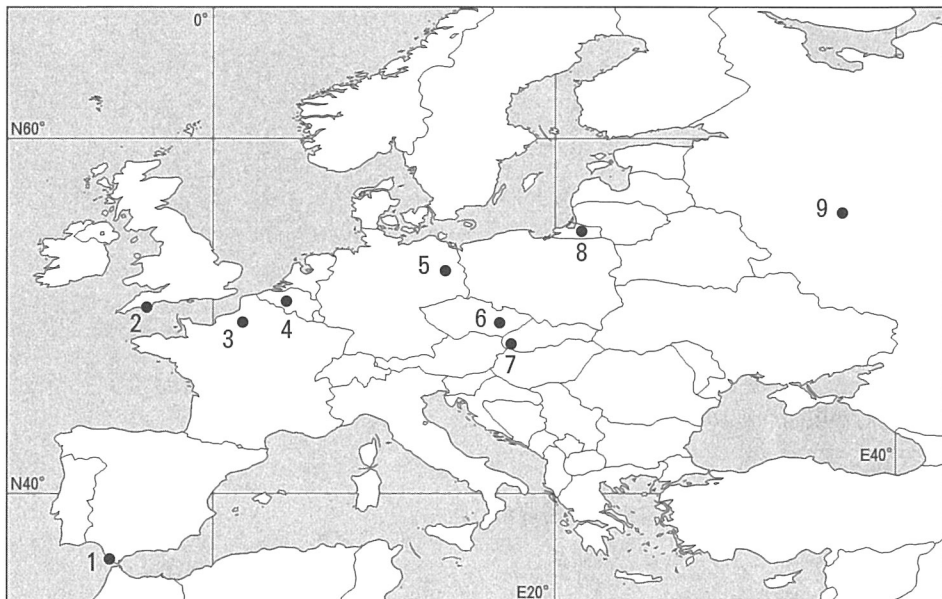
第一は、人びとに、利得をもとめて侵入をおこなわせ、第二は安全をもとめて、第三は評判をもとめて、そうさせる。第一は自分たちを他の人びとの人格、妻子、家畜の支配者とするために、暴力を使用し、第二は自分たちを防衛するために、第三は、一語一笑、ちがった意見、その他すべての過小評価のしるしのような、些細なことのために、それらが直接にかれらの人格にむけられたか、間接にかれらの親戚、友人、国民、職業、名称にむけられたかを問わず、暴力を使用する。

（資料出所はいずれも省略する。）

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| 1. a ケネー | b デカルト | c ホップズ |
| 2. a ケネー | b ホップズ | c デカルト |
| 3. a デカルト | b ケネー | c ホップズ |
| 4. a デカルト | b ホップズ | c ケネー |
| 5. a ホップズ | b ケネー | c デカルト |
| 6. a ホップズ | b デカルト | c ケネー |

問16 下線部 D に関連して、次の文章を読んで、(a)～(d)に入る地名の場所として最も適切なものを、下の地図中の1～9の中からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)

ナポレオンの台頭は、ヨーロッパ諸国をさらなる戦争に巻きこんだ。一連の戦争の背景の一つには、英仏の経済的対抗関係があった。1802年に両国は (a) で和約を結んで講和したが、対立はすぐに表面化し、再び戦争が始まった。海上では、1805年にネルソン提督率いるイギリス軍が (b) 岬沖で勝利し、フランスのイギリス本土上陸を頓挫させたが、大陸に軍を展開させたナポレオンは、オーストリア、ロシア、プロイセンに次々と勝利していった。こうした中、1806年に (c) を占領したナポレオンは、イギリス経済への打撃をねらって大陸封鎖の勅令を (c) で発した。翌年、(d) でロシアとプロイセンはそれぞれフランスと和約を結び、ロシアは大陸封鎖に協力することになり、プロイセンは広大な領土を失った。しかし、大陸封鎖はイギリスと密接な経済関係をもっていた大陸諸国の経済を疲弊させ、ナポレオンの大陸支配を動揺させていった。



備考：国境線は現在のもの。

問17 下線部 E に関連して、フランスではフランス革命以後、選挙制度も変遷した。国民公会を成立させた選挙制度と、七月王政下の選挙制度との違いについて、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問18 下線部 F に関連して、次の文章を読んで、以下の (1), (2) に答えなさい。

サルトルは1905年、パリに生まれた。1938年に小説『嘔吐』を、1943年には哲学書『存在と無』を発表した。第二次世界大戦後は実存主義が流行し、名声を得、発言の機会が増した。1948年から49年にかけて資本主義とも共産主義とも異なる第三の道を探る革命的民主連合に参加する。しかし、この運動はいきづまり、1952年リッジウェイ将軍訪仏反対をめぐる事件を機に、フランス共産党の「同伴者」となる。しかし、 α ソ連の外交政策をきっかけに、ソ連を批判し、共産党と訣別する。 β アルジェリア戦争に際しては、アルジェリア独立派を擁護した。1966年に日本を訪れた際には、慶應義塾大学三田キャンパスで講演をおこなった。

(1) 下線部 α に関連して、次の a, b の出来事はそれぞれ下の年表のどこに入るか。年表中の空欄 1～5 の中からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)

- a. ソ連が、ドイツの米英仏占領地区での通貨改革に反発し、米英仏占領地区から西ベルリンへの陸上交通を遮断した。
- b. ソ連軍がハンガリー国内に軍事介入し、ナジ=イムレが拘束された。

スターリンが死去した。

ソ連共産党第20回大会で、フルシチョフがスターリンを批判した。

東ドイツ政府が東西ベルリンの境界に壁を築いた。

フルシチョフが第一書記および首相の座を追われた。

(2) 下線部 β に関連して、アフリカ諸国の独立に関わる次の 1～4 の出来事を、年代の古い順に並べ替え、その番号を左から記入しなさい。

- 1. アフリカ統一機構が結成された。
- 2. アルジェリアが独立した。
- 3. チュニジアが独立した。
- 4. フランスで第五共和政が発足した。